

地域包括ケア「見える化」システムを活用した分析（紀美野町）

令和4年 9 月

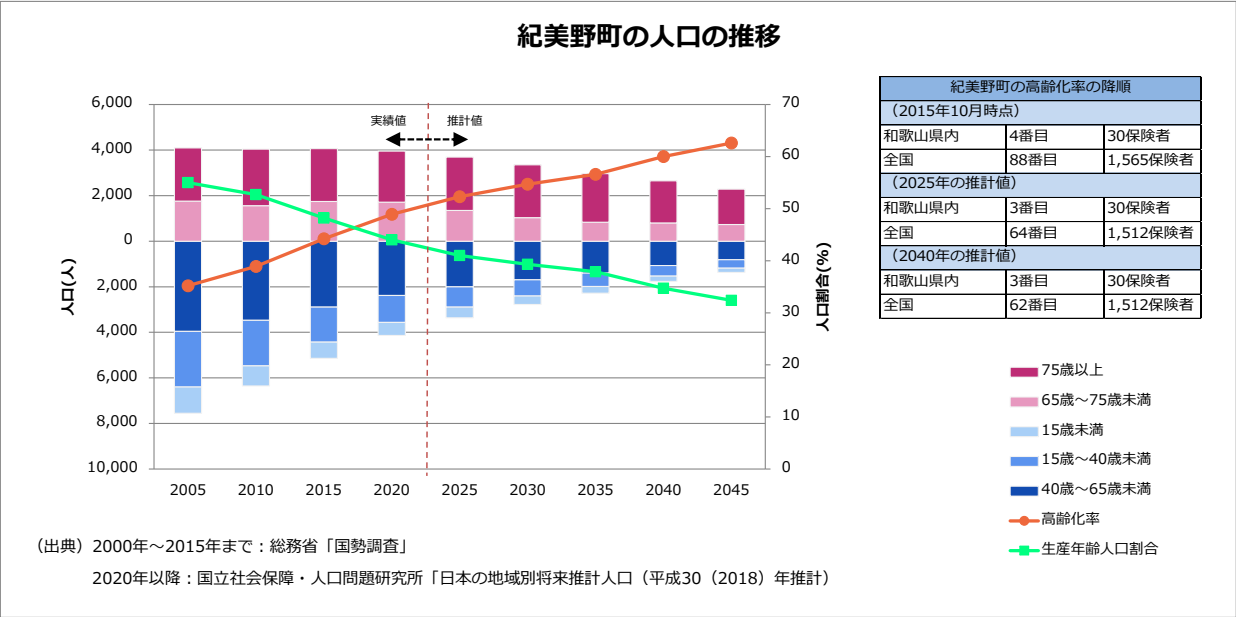
地域包括ケア「見える化」システムとは

都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関する情報ははじめ地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

- 1. 人口の推移
- 2. 高齢化率
- 3. 高齢者独居世帯の割合
- 4. 高齢夫婦世帯の割合
- 5. 調整済み認定率
- 6. 調整済み第 1 号被保険者 1 人あたり給付月額（サービス系列別）
- 7. 受給率（サービス系列別、要介護度別）
- 8. 紀美野町の現状分析と要因

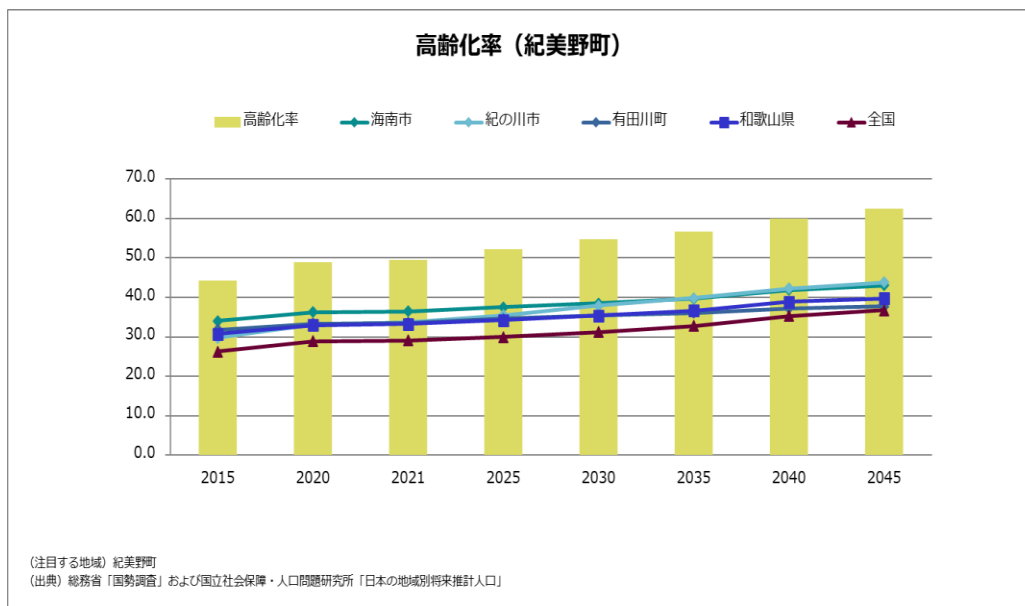
1. 人口の推移

紀美野町の人口は、2025年に7,059人、2040年に4,408人になると推計されています。
65歳以上の人口は減少するものの、65歳以下の人口も減少することから、両者の割合は2025年には逆転し、今後その差は益々広がっていくと見込まれています。



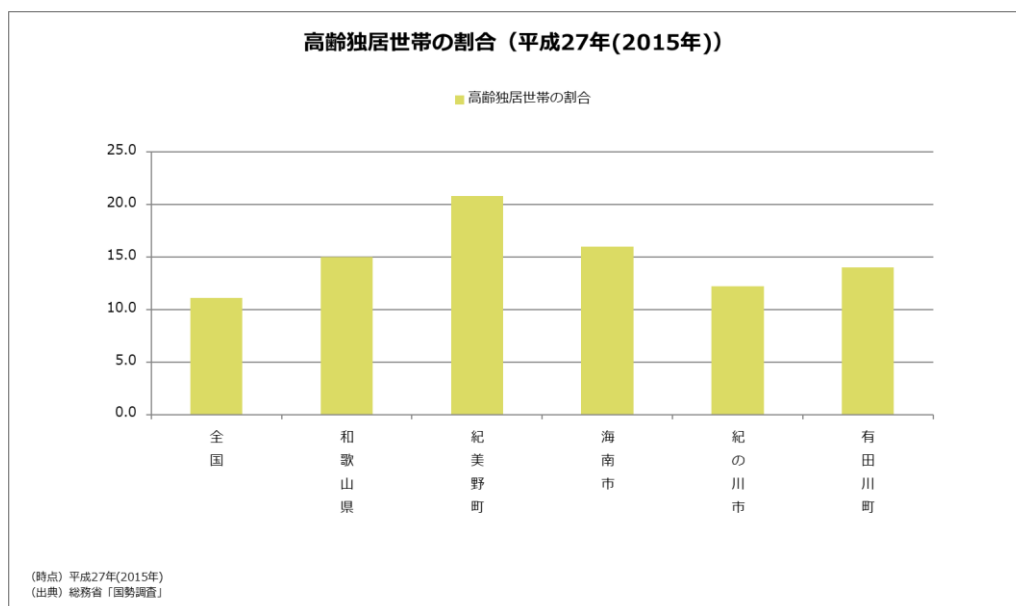
2. 高齢化率

紀美野町の2021年（令和3年）の高齢化率は49.5%。和歌山県の高齢化率33.3%を大きく上回っており、隣接する市町と比較しても一番高い値となっています。今後も高齢化率は上昇し、2040年には60%になることが推計されています。



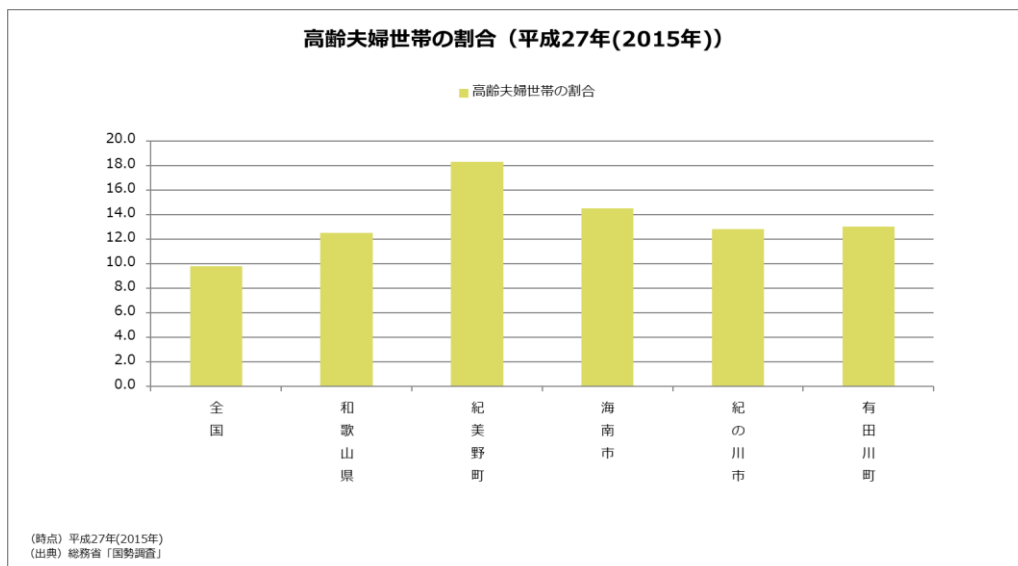
3. 高齢者独居世帯の割合

紀美野町の平成27年の高齢独居世帯の割合は20.8%。和歌山県の15.0%や隣接する市町と比較しても最大8.6%、高い値となっています。



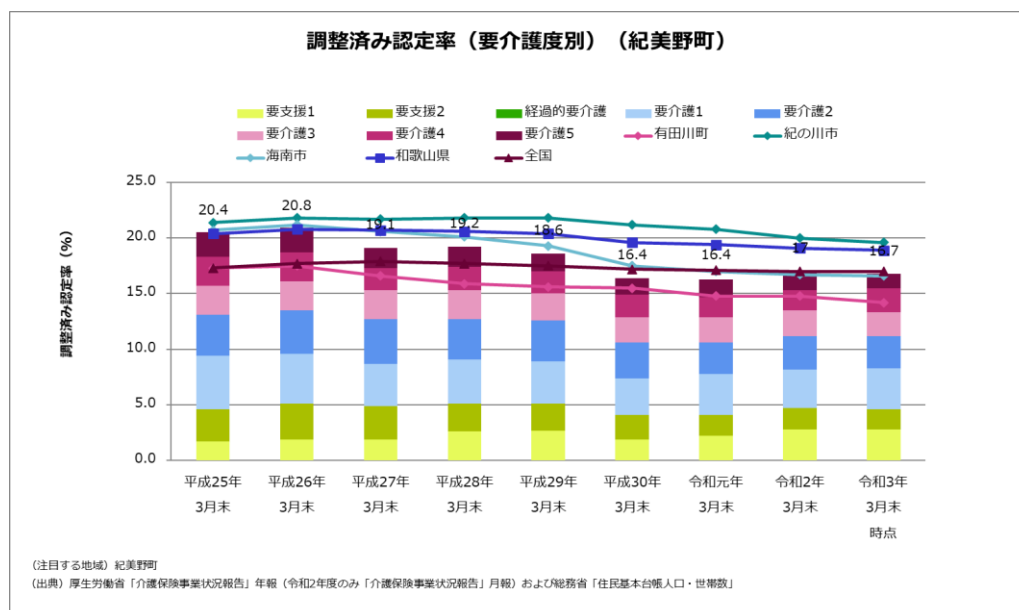
4. 高齢夫婦世帯の割合

紀美野町の平成27年の高齢夫婦世帯の割合は18.3%。和歌山県の12.5%や隣接する市町と比較して最大5.8%高い値となっています。
また、高齢者独居世帯と高齢者夫婦世帯を合わせた世帯の割合は39.1%となり、和歌山県の27.5%や隣接する市町と比較して最大14.1%高くなっているものの、高齢化率と並べて比較した場合、この割合は必ずしも高い値ではないことが分かりました。



5. 調整済み認定率

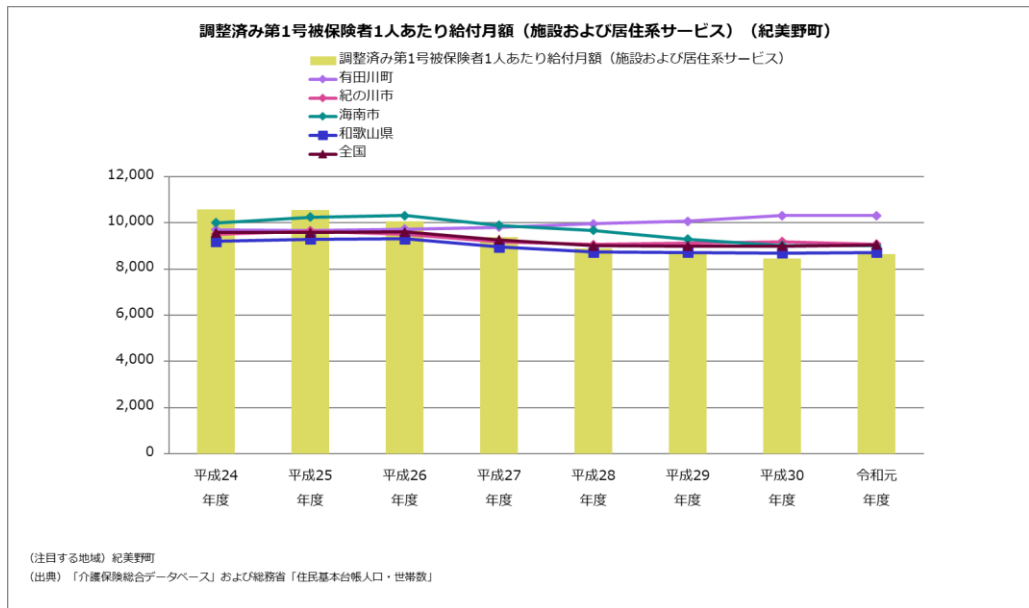
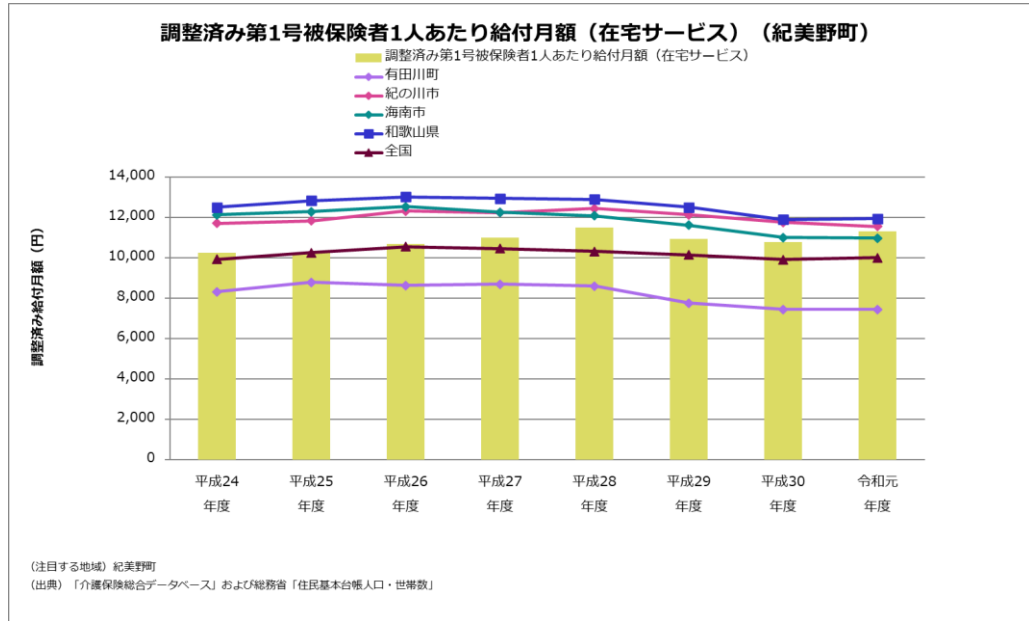
紀美野町の調整済み認定率は平成26年を境に減少に転じ、平成30年からはほぼ横ばいとなっています。
この率は近年、全国に近い割合となっており、和歌山県の割合を下回っています。隣接する市町と比較しても、紀美野町が特に高い割合ではありません。
認定率が低い自治体もあることから、今後、介護予防を重点的に進める必要があると考えます。



6. 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額（サービス系列別）

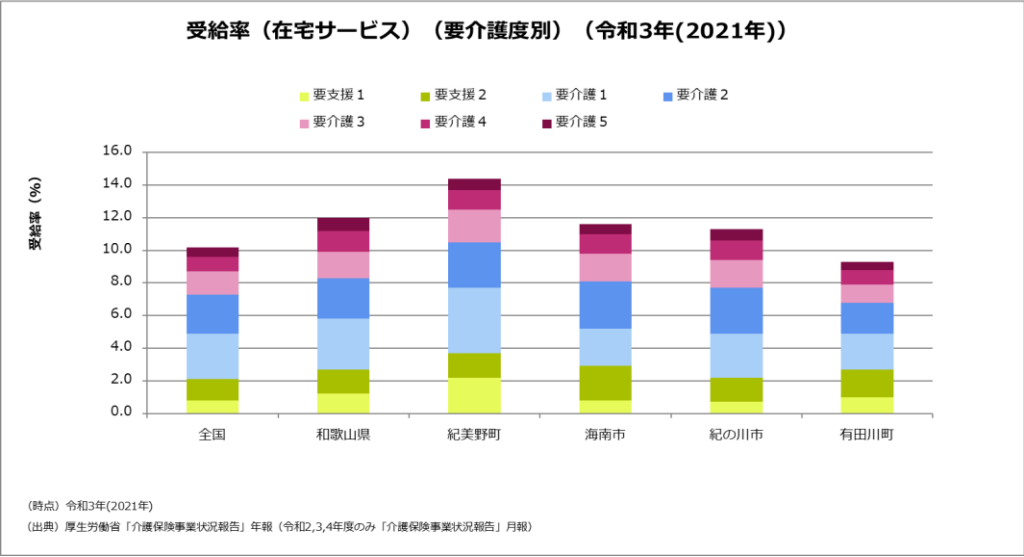
紀美野町の調整済み第1号被保険者1人あたりの給付月額は、在宅サービス及び施設・居住系サービスともにほぼ横ばいですが、令和元年度に若干増えています。全国・和歌山県・近隣の市町と比べると各サービスとも調整済み給付月額は同じくらいです。

また、紀美野町でのサービス系列別の比較では、施設及び居住系サービスに比べ在宅サービスの給付月額が高くなっています。

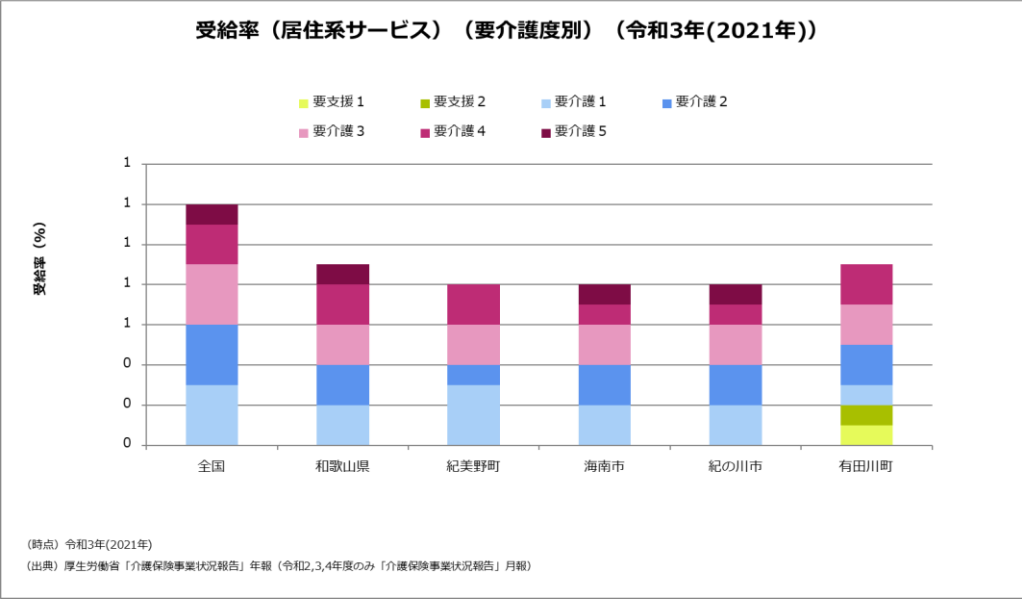


7. 受給率（サービス系列別、要介護度別）

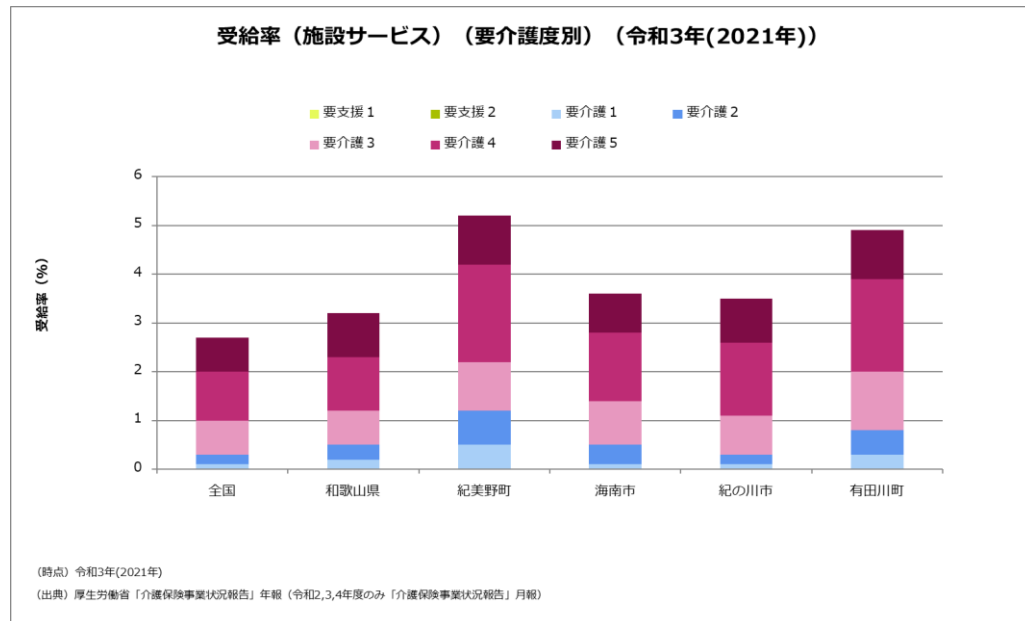
紀美野町の令和3年の在宅サービス受給率は、全国・県・隣接市町の割合を上回っています。要支援1と要介護1の受給率が他の地域よりも高いことは、高齢者だけの世帯割合が高いことや、山間といった地域性により、在宅サービスのニーズが高いと考えられます。



紀美野町の令和3年の居住系サービス受給率は、全国・県の割合を下回っています。隣接市町と比較した場合でも低い受給率となっています。



紀美野町の令和3年の施設サービス受給率は、全国・県の割合を上回っています。隣接市町と比較しても高い受給率となっており、高齢者だけの世帯割合も高いため、老々介護や要介護度の重度化などに起因して、在宅生活が難しくなっていると考えられます。



8. 紀美野町の現状分析と要因

紀美野町は、高齢化率や高齢者のみの世帯の割合が、全国及び和歌山県また近隣市町と比べても高い値となっており、「老老介護」などの状況により、今後ますます介護保険サービスの適切な提供が必要となる人が増えてくることが考えられます。

調整済み（第1号被保険者の性・年齢別人口構成の影響を除外した）認定率や1人当たりの給付月額額は、近隣市町と大きな差はありませんが、紀美野町は高齢化率や後期高齢者の割合が近隣市町に比べても高いことから、介護サービス量は増加傾向にあります。

在宅サービスの受給率は、全国及び和歌山県や近隣市町に比べ割合が高く、2021年では特に要支援1及び要介護1の受給率が高くなっています。このことから、今後はさらに、健診結果からの保健指導の実施による生活習慣病の予防改善・重症化予防などに努め、フレイル予防対策として、地域サロン等での健康相談や介護予防教室の開催、通いの場の紹介など啓発も行っています。

居住系サービスの受給率は、町内には認知症対応型共同生活介護のサービス提供のみのため、全国や和歌山県に比べ低い値となっています。

施設サービスの受給率は、全国や和歌山県、近隣市町を上回っています。町内に、介護老人福祉施設・介護老人保健施設を有していることや、後期高齢者の割合が高くなるに伴い重度者の割合も増え、高齢者のみの世帯割合も高いことから、施設サービス受給率が高くなっていると思われます。

以上のことから、今後の紀美野町において、疾病予防や重度化防止のための高齢者の保健事業とフレイル状態に陥らないための生活機能維持を含めた介護予防を一体的に実施するために、介護・医療・健診情報等の活用など連携し取組みを進めています。